

TAGAJO たがじょう

市議会だより

No. 108

令和元年(2019年)

8月1日発行

発行／多賀城市議会 編集／広報特別委員会
〒985-8531 宮城県多賀城市中央2-1-1
[電話 022-368-1141 FAX 022-368-1397]



東豊中学校3学年委員会のみなさん



東豊中学校 あいさつ運動

16ページで
ご紹介しています

第2回定例会結果

一般質問

あんなことこんなこと議論の足跡

東日本大震災調査特別委員会現場視察

議会のしくみ



平成31年度 各会計補正予算可決

6月7日から6月18日まで、12日間の会期で第2回定例会を開催しました。
今定例会では、専決2件、条例5件、予算3件、その他3件の審議を行いました。

主な内容 詳しい内容は3ページに記載しています。

- 【新規】教育・保育施設等整備推進事業
- 【新規】施設等利用費支給事業(幼稚園)
- 【増額】学校環境整備事業(東豊中学校)
- 【増額】低所得者保険料軽減繰入金(介護保険)

第2回定例会 市長が提出した議案

1	専決処分の承認を求めることについて(多賀城市税条例等の一部を改正する条例) 平成31年度税制改正による地方税法等の改正に伴い、市民税、固定資産税等の事項において所要の見直しを行いました。
2	専決処分の承認を求めることについて(多賀城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例) 平成31年度税制改正による地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額の引き上げなどを行いました。
3	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、投票管理者等の報酬単価を改定するため、所要の改正を行いました。
4	多賀城市税条例及び多賀城市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例について 平成31年度税制改正による地方税法等の改正に伴い、市民税、軽自動車税等の事項において所要の見直しを行うため、「多賀城市税条例及び多賀城市税条例等の一部を改正する条例」の一部を改正しました。
5	多賀城市心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について 宮城県障害者医療費助成事業補助金交付要綱の改正に伴い、心身障害者医療費助成事業の助成対象者に、精神障害者保健福祉手帳1級に該当する方を加える改正を行いました。
6	多賀城市介護保険条例の一部を改正する条例について 介護保険の第1号被保険者のうち低所得者の介護保険料の軽減強化を行うため、所要の改正を行いました。
7	仙塩広域都市計画事業宮内地区被災市街地復興土地区画整理事業の施行に関する条例を廃止する条例について 「仙塩広域都市計画事業宮内地区被災市街地復興土地区画整理事業」の完了に伴い、同事業に係る条例を廃止しました。
8	工事請負契約の締結について(平成31年度市道笠神八幡線道路改築工事)
9	工事請負変更契約の締結について(清水沢多賀城線こ線橋新設工事)
10	工事請負変更契約の締結について(平成30年度市道大代中央線橋本橋耐震補強工事)
11	平成31年度多賀城市一般会計補正予算(第2号)
12	平成31年度多賀城市介護保険特別会計補正予算(第1号)
13	平成31年度多賀城市水道事業会計補正予算(第1号)

第2回定例会 表決一覧（各議員が出した結論）

案件等の番号	自由民主党							日本共産党				公明党			民	市	新	無	審議結果
	佐藤 雅博	鈴木 新津男	江口 正夫	伏谷 修一	米澤 まき子	森 長一郎	吉田 瑞生	中田 定行	戸 津川 晴美	藤原 益栄	佐藤 恵子	阿部 正幸	齋藤 裕子	根本 朝栄	雨森 修一	昌浦 泰巳	竹谷 英昭	板橋 恵一	
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	承認
2	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		承認
3-13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決

表示の説明 賛成は○ 反対は×

会派名

自由民主党＝自由民主党多賀城市議団 日本共産党＝日本共産党多賀城市議団 公明党＝公明党多賀城市議団
民＝民政クラブ 市＝市民クラブ 新＝新世紀クラブ

※板橋議長は公正を期するため無会派になり、また、公正中立の立場から表決に加わりません。

意見書

平成31年第1回定例会で文教厚生常任委員会へ付託となった請願の審査結果を受け、市議会として意見書を提出しました。

現行の学童保育（放課後児童クラブ）の配置基準の堅持及び放課後児童支援員等の処遇改善を求める意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣（少子化対策）、内閣府特命担当大臣（地方創生）

請願・陳情

請願

- ◆国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書

→総務経済常任委員会で審査した結果が報告されました。
その結果、本会議で討論をし、不採択となりました。（本会議で採択を支持した議員5名）

- ◆国に対し「現行の学童保育支援員の資格と配置基準を維持するための財政措置を求める意見書」提出を求める請願書

→上記のとおり意見書を提出しました。

陳情

- ◆辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情
- ◆米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情
- ◆日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書

事業の説明

●【新規】教育・保育施設等整備推進事業

3歳未満児の待機児童解消と、少人数の手厚い保育で子どもたちの成長と発達を支援するため、私立小規模保育事業所の建設費の一部を支援する補助金を交付するもの。

●【新規】施設等利用費支給事業（幼稚園）

幼児教育・保育の無償化に伴い、幼児教育の実施に係る施設等利用費の追加などを行うもの。

●【増額】学校環境整備事業（東豊中学校）

東豊中学校屋内運動場の大規模改修工事实施に伴う工事費などの追加を行うもの。

●【増額】低所得者保険料軽減繰入金（介護保険）

消費税率の引き上げに伴い、介護保険第1号被保険者のうち低所得者に対する軽減措置の実施に伴い、必要な財政措置を講じるもの。

あんなことこんなこと 議論の足跡

質
…質問
答
…回答

市議会では、市長の提出案件が市民の生活へどのように寄与するのか、ひとつひとつ質疑を通して審議を深め、採決に臨みます。

第2回定例会では、補正予算特別委員会において、市当局との間で主に次のような質疑が行われました。

◆補正予算特別委員会◆

幼児教育の無償化

質 今回の無償化で給食の副食費は無償の対象となりませんでした。保育料に含まれていた給食の副食費は、いくらですか。

答 施設によって違いますが、3〜5歳で4500円程度となります。

質 低所得者にとつては、この給食費は大きな負担になると思います。支援策はありますか。

答 年収360万円以下の家庭には、国から支給されます。

質 給食費の未納によって、退所になるということはあつてはならないと思いますが、どうですか。

答 支援の対象となる家庭に対しては、そのようなことは避けられると思います。



ふるさと・多賀城 応援寄附事業

質 今回、ふるさと納税制度の見直しにより返礼品数は大幅に減少し、それに伴い、対象事業者も縮小しました。対象とならなくなった事業者の中には、シールや包装紙なども先の分まで準備していた所もあり、リスクを負わせる結果となりました。これを考慮し、今後の業務にあつてほしいと思いますが、いかがか。

答 事業者の思いに沿って、仕事をしています。

質 返礼品は、地場産品でなくても市内で50%程度に加工していれば認められるということであるから、今後その開発に努力してほしいと思いますが、いかがか。

答 特産品を見いだすため、事業所と共有し、工夫しています。



▲返礼品の一部

配水管整備事業 (高平伸縮可とう管補強工事)

質 市道水入線高平踏切付近の掘削を伴う緊急工事だと思いますが、いつ完了する予定ですか。

答 議決後直ちに、地盤調査を行い、軟弱地盤対策を含めた口径500ミリメートルの配水管補強工事を令和元年12月末までに低廉完了させたいと考えております。

質 夜間工事で行うのですか。

答 交通量を勘案し、関係機関と協議の上、通行止めによる夜間工事で行う予定です。

質 周辺住民への周知はどうお考えですか。

答 工事場所から半径300メートル程度のお宅にチラシなどお知らせするとともに、迂回路や規制内容を記入した工事看板を設置して、安全に配慮を進めてまいります。



▲工事箇所図



市民クラブ
昌浦 泰巳

災害から
災害弱者を守るために

一般質問

問

令和最初の質問は転ばぬ先の杖として、災害時災害弱者(子ども女性高齢者)を守るためにどうすべきかを市当局と議論を実施。①本市の避難所運営マニュアルでは、子どもと女性に対する配慮はどのようにしていますか。②子ども連れ、乳幼児を連れての避難所生活で特に困難を感じることは何だとお考えでしょうか。③高齢者の避難所生活にて特に配慮すべきは何でしょうか。④車中泊者に対しての配慮はお考えでしょうか。⑤多くの住民が避難所生活となるレベルの災害時、避難所運営には女性の運営管理者を選任すべきと思いますが市はどうお考えですか。

答

① ② 避難所運営マニュアルに男女のニーズの違いや多様な視点を取り入れた運営を行うことを記載し、避難所での部屋割りへの配慮や授乳スペースの確保、女性専用の更衣室および物干し場などについて対応することとしており、また、紙おむつや粉



ミルク、生理用品などを備蓄しております。③ 高齢者は体調面や精神面で環境の変化による影響を受けやすいため、グライバシーの確保はもちろんのこと、見守りや声がけのしやすい部屋割りを行います。④ 避難生活に必要な情報を伝達し、物資・食料などの配給を円滑に行えるようにします。⑤ 避難所の運営には多様な意見・視点が必要ため、女性の参加が必要と認識しています。

問1

① 国保財政調整基金を使います。高すぎる国保税を引き下げてはどうですか。② 子育て支援のため18歳までの子どもに係る均等割りを、一般財源を投入して減免してはいかがですか。

答

① 今後の本市の国民健康保険税につきましては、新たに示される令和3年度以降の宮城県県の運営方針や国からの支援動向を十分に把握した上で、将来にわたり国保財政を安定的に運営するための適正な税率を検討していくこととしております。② 県単位化を実施する際の国および県の方針では、将来的に県内統一料金とすることを目指していることを踏まえると、現時点において一自治体が単独で独自の減免措置を設けるべきではないと考えております。

問2

志引団地西側の住宅地の市道の行き止まり解消のため、浮島雨水ポンプ場脇の通路を市道として

答

整備し、地元住民の不安を解消すべきではありませんか。

新たな接続道路により団地内を容易に往来できる道路が整備されることとなりますので、慎重な対応が必要であると認識しております。また、今後、清水沢多賀城線の整備により、道路環境や交通事情などが大きく変化しますので、当該地区にお住まいの方々はもちろんのこと、地域住民のご理解と共通認識が重要であると考えております。



日本共産党
中田 定行

① 国保税の引き下げについて
② 市道の整備について

一般質問



日本共産党
戸津川 晴美

① 難聴支援策の拡充
② 原発とエネルギー

問1

① 70歳以上の半数が加齢性難聴といわれています。難聴は社会的孤立や認知症の原因につながります。障害者手帳を持たない加齢性難聴者にも、補聴器購入補助が必要と考えますが、いかがですか。② 公共施設に磁気ループの整備を進めていく考えはありますか。

答

① 身体障害者手帳の交付対象となる人には補聴器の購入費用が支給されますが、それ以外の加齢性難聴者については、予定はございません。② 今後、先進事例や実際のニーズに鑑みながら研究してまいります。

問2

① 原発事故時に石巻市からの避難者6480人の受け入れは万全ですか。② 風向きによっては本市市民も避難が必要となりますが、その対策はできていますか。③ 原発から再生可能エネルギーへの転換が求められています。市長の所見を伺います。



答

① 石巻市との協定に基づき、避難者6480人を上限とし、市内12カ所で1カ月以内を基本に受け入れることとなっています。② 避難計画や安定ヨウ素剤の対策は未確定です。③ 原発のコストは高いと思いますし、福島のことを考えれば、自然エネルギーを進めてほしいと思います。



公明党
阿部 正幸

① 小学生へ通学用ヘルメットの配布と着用の推進
② 老朽化している歩道橋の点検および整備
③ 多賀城市文化センター小ホール整備
④ 左折表示の整備および左折標識の設置

問1

子どもの命を交通事故や災害などの危険から守るため、小学生へ通学用のヘルメットの配布と着用を推進してはいかがでしょうか。

答

登下校時の交通安全対策の重要性は強く認識しています。関係機関などと連携を図り、様々な観点から交通安全対策について検討します。

問2

国道45号線に設置している八幡歩道橋が老朽化しており安全性に不安があるため、国へ整備の要望をしていただきたい。

答

仙台河川国道事務所に確認したところ、すでに定期点検を実施し、老朽化に伴う補修工事の実施に向けて現在検討中と聞いておりますので、もう少ししばらくお待ちください。

問3

車椅子利用者が小ホールのステージを利用できるようにバリアフリーなどの整備をしていただきたい。



◀ 老朽化した八幡歩道橋(国道45号)

答

スロープや電動昇降機の設置可能性、安全性、利便性などについて十分に研究が必要と思われます。利用者同士が助け合う取り組みもぜひ継続したいと思っています。

問4

「市道明月五号線」から「市道工場西一号線」の丁字路に左折表示の整備および左折標識を設置していただきたい。

答

市交通安全関係団体などとの協議を踏まえ、検討を行っていくとともに、塩釜警察署への要望も検討してまいります。



民政クラブ
雨森 修一

多賀城市立中学校の
部活動に係る方針について

一般質問

問

多賀城市立多賀城中学校は昭和22年4月に開校、昭和51年4月市立第二中学校、昭和62年4月市立東豊中学校、平成7年市立高崎中学校各校が開校されました。

多賀城中学校は、昭和61年(32年前)生徒数は1681名、その後東豊中学校、高崎中学校2校の開校により多賀城中学校の生徒数は、令和元年5月1日442名であります。

各中学校の生徒数が減少する中で、各部活の整理についての検討、併せて多賀城第二中学校に弓道部を新設することについて伺います。

答

生徒数減少につきましては、多賀城市の児童数や未就学児の人口をみますと、幸いにも大きく減少する可能性は低く、現段階では、現状の生徒数で推移することが予測されます。従いまして、今後につきましても、中学校ごとに部活動計画を定め、生徒の健康に配慮しながら実施する方針です。また、第二中学校の弓道場新



設につきましては、平成25年第4回定例会および平成27年第2回定例会でお答えしましたが、現在も、生徒総会や学校評価の中で弓道部設置の要望がなく、現在活動中の部活動への影響の大きさなどを考慮いたしますと、現段階での新設は考えておりませんので、ご理解くださいますようお願いいたします。

問1

① 中高年ひきこもり人数が61万人という内閣府の調査結果を市としてどう認識していますか。② 市内の中高年ひきこもりの実態を把握するため市として独自に調査を行うよう求めます。③ 専門委員の配置など市の相談支援体制を充実していくべきと思いますがいかがですか。

答

① 衝撃的な数字で大変重大な事態と受けとめています。② 国と同様の調査は難しいと考えますが、通常の業務の中で可能な限り実態把握に努めてまいります。③ 内閣府の調査を踏まえた国や県の施策の動向を見据え、県のひきこもり支援センターとも連携し包括的な相談、支援体制を強化します。

問2

災害公営住宅で収入基準を超過し家賃が上がり退去せざるを得ないという声があります。復興需要に伴う建築コスト高騰が家賃上昇の要因です。軽減策を実施した自治体の

答

ように、割増し家賃の一定期間の据え置きなど急激な負担増にならないよう対策を講じてください。
ご指摘のように建築コストの増加が家賃に反映される仕組みになっています。独自に減免している自治体の取り組みや背景を調査してみましたが、本市とは取り巻く住宅環境が異なっており、市としての独自減免は望ましいことではないと考えますのでご理解ください。



▲トゥインクルたがじょう

日本共産党
佐藤 恵子

① 中高年のひきこもり・80500問題について
② 災害公営住宅の収入超過者家賃軽減について

一般質問



自由民主党 森 長一郎

- ① 第六次総合計画
- ② 子育て支援
- ③ 入管法の改正
- ④ 「再犯防止推進計画」策定

問1

第六次総合計画策定に、未来の多賀城に向けて「未来の大人たち」である子どもたちからも意見を聞くべき。

答

高校生を対象としたワークショップの開催を予定しています。小中学生についても機会を捉えて声を聞いてまいります。

問2

保護者の送迎の負担軽減のために保育所利用調整の指数を改善し、兄弟姉妹が同じ施設を利用できるように願いたい。

答

利用調整の際には、兄弟姉妹が同じ施設を利用できるように努めて調整しております。

問3

入管法の改正により、外国人労働者の受け入れ手続き、市民との共生などについて伺う。①市役所窓口での外国人申請時の確認事項と外国語対応②県警や出入国在留管理庁との連携③近隣住民とのトラブル防止



答

①住所、氏名、生年月日、性別、国籍、在留期間および在留資格などを確認しています。窓口での意思疎通は十分に図られています。②法に基づいた業務対応をしています。③お互いの文化を理解し、良好な関係性を構築することが重要と考えています。

問4

「再犯防止推進法」の施行に伴い、当市においても「再犯防止推進計画」の策定を求める。

答

今後、宮城県が策定する計画を注視してまいります。



自由民主党 鈴木 新津男

- ① 高橋公園について
- ② 多賀城創建1300年に係る路線の整備計画について
- ③ 「たがもん」について

問1

高橋公園は高橋雨水幹線完成後に造成を行うこととなっているが、財源確保と整備方法は、財源確保に時間がかかるのであれば暫定的に供用開始できないですか。

答

高橋公園は、高橋雨水幹線の下流域の整備が完了するまでの暫定調整池として整備されておりました。高橋雨水幹線が平成30年3月に完成したことから、今後、公園の暫定供用を含め最適な整備方法についての検討を進めてまいります。

問2

多賀城創建1300年行事の際、バックヤード機能として加瀬沼公園が使用される可能性があります。その際、政庁に最短距離で行ける市川三号線と、通称鉄管道路の2路線が重要になります。この2路線の整備計画を進めてもらいたい。

答

宮城県との協議により、整備は県、維持管理は本市が行うこととなっておりますので、今後の整備

問3

多賀城市観光協会のキャラクター「たがもん」を多賀城市観光PR大使のような名譽職に任命したかどうか。

答

現在、たがもんの観光PR大使などの任命については検討しておりませんが、様々なイベントなどを通じて本市の魅力を発信するPRキャラクターとして活躍してもらいたいと考えております。



▲整備が待たれる高橋公園

については県と協議してまいります。



公明党 根本 朝栄

- ① 災害公営住宅の共益費について
- ② 公営墓地の増設と一般募集について
- ③ 本市の定住策について

一般質問

問1

災害公営住宅の入居者は高齢者が多く役員のなり手不足のため、宮城県住宅供給公社に家賃と一緒に共益費も集金できるよう検討しているかがですか。

答

災害公営住宅で課題となっている共益費徴収は、ごく一部の未納者が問題となっているものです。啓蒙活動により一定の成果が上がっているようですので、現行の取り組みをそのまま継続したいと考えております。

問2

公営墓地「蓮沼苑」の残区画は13区画しか残っていないため、七ヶ浜町にお願いして墓地の増設と、お骨がなくても購入できる「一般募集」を早期に実施するべきと考えますがいかがですか。

答

七ヶ浜町とは、本市分の墓地区画譲渡についての協議を行っており、本年度中には今後の募集の方向性を明確にしたいと考えております。

問3

塩竈市や大和町などの自治体では人口減少に対応し若い世代の定住と地域活力の維持のため「子育て家庭と3世代同居近居住宅取得支援事業」を実施していますが、本市においても将来を見据えた定住策を実施してはどうか。

答

「子育て世帯および3世代同居近居住宅取得支援」などの定住策は、「まちの魅力に付加価値を創出する政策」とセットで考えることで真価を発揮するものと考えております。



▲災害公営住宅

問

多賀城碑に明記されている神龜元年（724年）に多賀城が創建されたことを基礎に、多賀城創建1300年（令和6年・2024年）事業として、多賀城外郭南門復元などに取り組まれています。

この機会に、多賀城市教育委員会編集発行の「重要文化財多賀城碑」に記されているとおり、「多賀城碑には、多賀城と古代東北の解明にとって重要な記載があり、また数少ない奈良時代の金石文として貴重である」としていることに鑑み、多賀城創建1300年に向けて、多賀城碑を国宝の指定に建議すること。

答

多賀城碑は、古代律令国家による国府の建設および修造を記した唯一の古碑であり、宮城県多賀城跡調査研究所による発掘調査で奈良時代の建立当初の位置をおよそ留めていることが分かったほか、金石文であるため書写によって生じる誤記がなく、当時の字体用字をそのまま今日に

伝えていることなど、多賀城を研究する上では不可欠なものであり、極めて重要なものであります。多賀城碑が国宝に指定されることは、文化財としての価値が高まり、市民の誇りにもつながるものですので、今後とも多賀城碑の学術的価値や歴史的価値を市内外に積極的に発信していきたいと考えております。



▲多賀城碑(国指定重要文化財)



自由民主党 吉田 瑞生

国の重要文化財多賀城碑（国名勝・日本遺産）を国宝の指定に建議するようについて

一般質問



自由民主党
佐藤 雅博

- ① 法改正！交通安全指導隊への対応について
- ② 特別史跡多賀城跡周辺の国営公園化について

問1

① 今回の制度改正で、隊員は非常勤特別職の身分を失い会計年度任用職員として活動することが望ましいと考えます。その方向性を伺います。② 身分が変わった場合、活動報酬が大きく減少する事が想定されます。現段階での対応策を伺います。③ これまでの役割、活動をどう評価し、今後の役割、活動をどのように想定しているのか伺います。

答

① 交通安全指導隊を特別職非常勤職員として任用することはできなくなりますが、会計年度任用職員として引き続き活動していただくことが望ましいと考えております。② 現在、協議検討中です。③ 交通安全指導隊は、本市の交通安全に関して極めて重要な活動を行っております。今後、これまで同様の活動を行っていくべくに検討してまいります。

問2

多賀城跡は国営公園に指定される必要十分な要件を備えて



▲交通安全指導隊

答

います。加瀬沼公園、中央公園を含め多賀城歴史公園としての整備を国へ働き掛け、要望活動に着手すべき時期と考えますが、市長の所見を伺います。本市では、その個性と魅力を高めるため、このまちならではの付加価値を創出するべく、南門復元などの整備や多賀城創建1300年記念事業に取り組んでいます。まずはこれらの事業に力を尽くし、成功させることが最優先の課題と捉えています。



公明党
齋藤 裕子

- ① SDGs「持続可能な開発目標」の取り組み
- ② エンディングサポート(終活支援)
- ③ 「お悔やみコーナー」窓口の設置
- ④ 歩道の安全確保

問1

第六次総合計画に、SDGsの理論を取り入れて策定する考えをお聞き致します。

答

SDGsの理念は、本市の政策の中にしっかりと取り入れ、第六次総合計画においても念頭に置いてまいります。

問2

エンディングサポート事業として、エンディングノートを作成し活用推進してはいかがでしょうか。

答

他自治体で独自のエンディングノートを作成していることは承知しております。今後、終活支援策の一環としてエンディングノートの作成と活用について研究をします。

問3

遺族が行う葬儀後の手続きを支援する「お悔やみコーナー」窓口を設置してはいかがでしょうか。

答

ワンストップサービスの事例として実施している市町村があることは認識しています。窓口サービス

問4

八幡下馬線・東北管区警察学校付近の歩道の安全確保対策をしてはいかがでしょうか。

答

警察学校に歩道用地の確保の相談をし、安全施設の設置についての検討も行いましたが、いずれも困難との結論でした。反対車線の歩道には安全な歩行者の通行空間を確保してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▲持続可能な開発目標(SDGs)のアイコン



日本共産党
藤原 益栄

① 南北大路の整備について
② 多賀城創建1300年
事業成功にむけて

一般質問

問1

南北大路と市道新田浮島線の平面交差について、第1回定例会で取り上げた際、市長と教育長は実現にむけ「文化庁に行ってくる」と答弁しました。その後の経過を報告してください。また市道新田浮島線のかさ上げは建設部の事業として実施できますか。

答

現在、多賀城南門等復元整備事業に事実上着手したことを踏まえ、多賀城創建1300年の完成に向けて、主要事業を優先的に実施しております。南北大路の連続性の確保については長期的な課題として捉えており、時機をみて県と相談してまいりたいと考えております。

問2

多賀城創建1300年事業の成功のためには①県と一緒に取り組む、②史跡、万葉集、『おくのほそ道』などで縁のある自治体の協力を得る、③海軍工廠関連自治体の協力も得ることなどが必要と考えます。

答

①多賀城創建1300年事業の実施体制については、県との連携のもと、東大寺展で築いた関係を活かしつつ、より広範な形で実行委員会を組織して事業を推進してまいります。②③多賀城は古代東北の中心的役割を担い、東北の歴史のみならず、日本の古代史を語る上で欠かすことのできない遺跡ですので、多賀城関連遺跡をもつ自治体などの連携協力が必要と考えております。



▲政庁南面地区

表彰

議員在職40年以上

◆竹谷 英昭議員

議員在職20年以上

◆佐藤 恵子議員

◆板橋 恵一議長

6月11日に開催された全市国市議会議長会総会において、表彰されました。

この表彰は、長年にわたり、議員活動を通じて市政の振興に寄与された功績に対し、贈られるものです。

東日本大震災調査特別委員会現場視察

平成23年6月、第2回定例議会で東日本大震災調査特別委員会を立ち上げ、今日まで委員会を62回開催し、本市の復興状況を調査してきました。特に多賀城市震災復興計画の策定から関わり、全議員で構成している委員会であり、全議員で協議してきました。

委員会では、①被災者の生活再建および被災者支援の充実②地域産業の復旧、復興施策③生活環境対策④災害に強いまちづくり、復興計画⑤防災計画体制の見直し⑥財政対策、財源の見直しについて調査してきました。また、復興事業に必要な資金として今日まで19回復興交付金として国から交付され、その事業を推進してきました。この交付金は今後継続して確保することは復興を推進する上で大変重要でありますので、引き続き継続していく必要があります。

委員会は、令和元年5月28日にこれまでの事業の進捗状況について現地調査を詳細に行いました。調査内容は①笠神八幡線②八幡雨水幹線（桜木地区）③橋本橋④大代東雨水ポンプ場（完成）⑤仙塩浄化センター⑥八幡第二雨水調整池⑦防災緑地・内水排除（工場地区）⑧町前雨水幹線⑨清水沢多賀城線（JR側）⑩清水沢多賀城線（志引団地側）の工事内容を調査してきました。

どの事業も予定通り進んでいるようでありました。

委員会はこれからも必要に応じて現地調査を行い、市民の声を行政に反映してまいりますので、皆さまのご意見を賜りますようお願い申し上げますとともに、私たちの活動に対しご理解をお願い申し上げます。東日本大震災調査特別委員会からの報告といたします。

東日本大震災調査特別委員長

竹谷 英昭



▲橋本橋



▲清水沢多賀城線



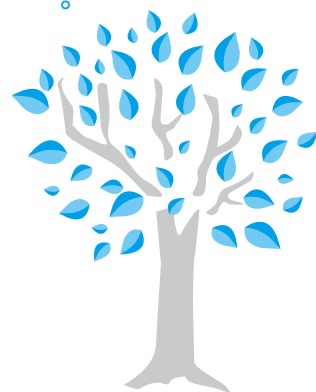
▲八幡第二雨水調整池



▲笠神八幡線

私もひとつ

議会を傍聴したみなさんからの
感想や意見です。



1978年の宮城県沖地震においてブロック塀の倒壊による死亡者が多発した。そのため、国においては、コンクリートブロック造の塀等の安全対策を推進していた。ところが東日本大震災において、高橋地区周辺をチェックしたところ私が確認しただけで、15件以上のブロック塀が完全倒壊していた。通学路にもなっている道路であったが、地震発生時刻による不幸中の幸いで児童や住民のケガ人はなかったが、行政側のブロック塀確認を怠っていた責任は免れないはずである。まだまだ市内にはブロック塀は残されている。早急な対策が求められる。

熊谷 敏晴さん（東田中在住）

動画配信を、議会傍聴システム・企業システムではなくYouTubeを利用してのことから、有効活用する点でカメラをHD化することや、動画を恒久的に保存する形がよからうと思います。議場への入り口は分かりやすいが、傍聴室への動線が非常に分かりづらい。議会事務局から議場への部位、傍聴席までの部位で階段であり、バリアフリーの時代として、スロープ形にすべきかと思う。

佐藤 太一さん（東松島市在住）

編集後記

令和元年第2回定例会が6月18日、平成31年度各補正予算などを可決し、閉会しました。

8月25日に市議会選挙が告示され、9月1日に投開票を迎える選挙が行われます。

市議会は運営規則を改正し、より効率的な議会に改革され、市民により分かりやすい議会を目指しています。

また、今回は市議会の役割機能について、一層のご理解を賜りますよう、特集「議会のしくみ」を掲載しました。

さて、新しいまちづくりの新基本計画である「第六次総合計画」を策定するため、市民ワークショップなどが行われていますので、積極的なご参画をお願いします。

今後も、市議会だよりが市民の多くの皆さまに、議会の活動を分かりやすくご報告できますよう留意し、新メンバーで頑張つてまいります。

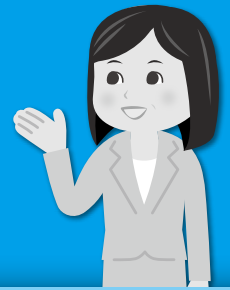
（江口 正夫）

広報特別委員会

委員長	江口 正夫
副委員長	齋藤 裕子
委員	戸津川 晴美
委員	鈴木 新津男
委員	米澤 まき子
委員	昌浦 泰巳



議会のしくみ



市をよりよいまちにしていけるためには、市議会と市当局が連携してそれぞれの役割を果たしていく必要があります。

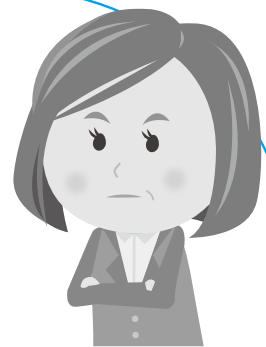
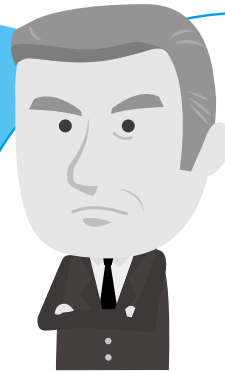
多賀城市のまちづくりのために活動する市議会の仕事を紹介します！

市議会ではどんな仕事をしているの？



市政の確認

市の仕事の状況を聞いたり、問題点を指摘することで、市政が正しく運営されているかチェックします。



条例や予算の審議

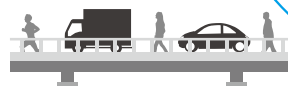
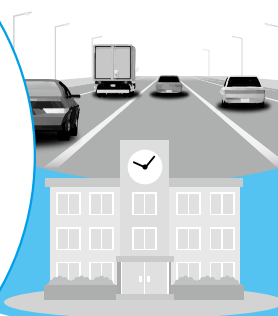
条例の制定・改正・廃止、予算の決定、決算の認定などを行います。

市議会



意見書の提出

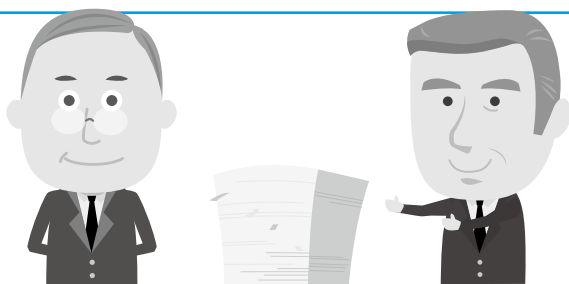
市の力だけでは解決できないことについて、国や県などの関係機関に「意見書」を提出します。



請願・陳情の審査

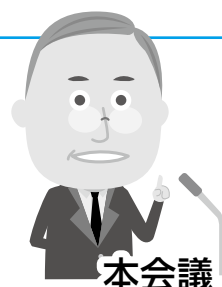
市民から提出された請願・陳情を受理し、所管の常任委員会で審査します。

市議会では どのように仕事が進んでいくの？



議会で審議する議案が提出されます。

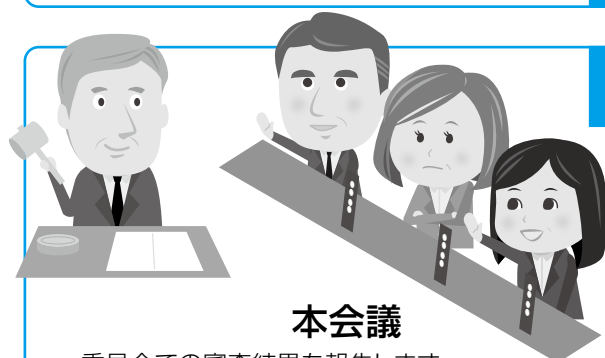
1



本会議

市長から議案の内容説明が行われます。
議案に対して、議員が質問を行い、市長や
教育長、部長などが答えます。

2



本会議

委員会での審査結果を報告します。
議案の採決をし、市の最終的な意思を決定します。

4



委員会

いくつかの部門に分けて、専門的に詳しく
審査をしていきます。

3

ひとくちメモ

多賀城市では令和元年12月
から委員会中心の議会運営
に移行します。



市議会は どうやって見ることができるの？

- 本会議、予算・決算特別委員会などを傍聴することができます。
- 傍聴の際は、市役所3階の議会事務局へお越しください。
- 議場での傍聴のほかに、市役所1階ロビー、パソコンやスマートフォンでの
中継も行っています。
- 最新の会議はYouTubeでいつでも見るすることができます。



携帯・スマートフォンから
のアクセスはこちらから



東豊中学校による こころざし みやぎの志教育の活動を紹介



▲ 昨年の3学年委員会のあいさつ運動の様子

平成31年2月1日に多賀城市立東豊中学校3学年委員会が「多賀城市青少年善行者表彰」を受賞しました!!「善行」とはその字の通り「善い行い」です。中学生の活動をご覧になっていた隣接する多賀城東小学校の富田校長先生が推薦してくださったのです。今回はその善行内容をご紹介します。

東豊中学校で昨年の4月の話し合いで「隣の東小学校の児童が母親に連れられ、登校する黄色い帽子的児童が校舎に入らないため、母親が困っている」という様子を見て、何か中学生としてできることはないかと考え「あいさつ運動と一緒に小学校1年生を励まそう」ということを始めました。

十数年間地域の防犯協会・交通安全協会・指導隊と大人だけの見守り活動に、彼らから「笑顔と元気」が届けられました。これまでも多くの感動を頂きました。色々な場面で自主的に行動に移すことが出来る彼らは、地域の真ん中にいてコミュニティに欠かせない存在であること、間近に見る生徒たちの気づきにひとりの大人として励まされている、そんな気持ちにしてくれます。

*みやぎの志教育とは…

小・中・高等学校の全時期を通じて、人や社会とかかわる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育です。



東小学校に隣接する歩道橋。子どもを乗せながらの自転車での昇り降りに苦慮する保護者に代わり、下で待機しながら自転車を押す男子生徒の姿があります。

今年の3月の卒業式に自転車の持ち主である保護者の方から、感謝を伝える電話が学校にあったとのこと…地域の真ん中の存在であることを認識しました。

レポーター 米澤 まき子